



2026年4月28日

各 位

会 社 名	ローム株式会社
代表者名	代表取締役社長 社長執行役員 東 克己 (コード：6963、東証プライム市場)
問合せ先責任者	広報 IR 部 統括課長 後藤 辰英 (TEL. 075-311-2121)

### (開示事項の経過) 株式会社デンソーによる当社株式取得にかかる提案に関する検討終了のお知らせ

本日、株式会社デンソー（以下、デンソー）から開示された通り、デンソーによる当社株式の取得に関する提案（以下、本提案）が取下げられました。これを受けて、当社においても本提案に関する検討を終了いたしましたので、お知らせいたします。

当社およびデンソーは、2025年5月8日付で公表した半導体分野における戦略的パートナーシップ（以下、「デンソーとの戦略的パートナーシップ」）構築に向けた基本合意以降、デンソーが持つ自動車分野での高度なシステム構築力と、当社が民生市場などで培ってきた最先端の半導体技術を融合することで、アナログ IC を中心に、クルマの電動化や知能化を支える高品質なデバイスのラインナップの補完および開発面での連携を進めてまいりました。加えて、両社が持つ半導体事業の中で、親和性の高い分野においては、より幅広い連携を視野に入れて協議を進め、強固なパートナーシップを構築してまいりました。

その後、2026年3月6日付「当社に関する一部報道について」にて開示した通り、当社はデンソーより本提案を受領し、それ以降、2026年3月17日付「(開示事項の経過) 当社に関する一部報道について」にて開示したとおり、本提案の是非を判断するにあたり、独立社外取締役等により構成される特別委員会を組成し、本提案について、当社企業価値の向上については株主の共同利益の確保の観点から公正かつ慎重に検討を進めておりました。検討の過程において、当社取締役会及び特別委員会は、デンソーとの間で書面での質疑応答を実施するとともに、本提案の概要及び取引実施後の構想などに関する真摯な協議を複数回にわたり実施してまいりました。これにより両社で本提案に関する理解を深めることができたものの、本日までに、本提案へ賛同するという結論には至りませんでした。

デンソーからは、こうした状況の中、本提案を進めることの意義やデンソーの中長期的な企業価値への影響、両社の最適な関係の在り方などについて総合的に検討した結果、本提案を継続することがデンソーの企業価値向上に必ずしも資するものではないとの判断に至り、本提案を取下げるとの連絡を受けました。

一方、当社及びデンソーは、これまでの協議を通じ、次世代モビリティやカーボンニュートラル社会の実現に向けて、製品の付加価値向上及びお客様や産業全体に対する提供価値の向上を図ることについて、共通認識を形成しております。なかでも、自動車の厳しい要求仕様を半導体に具現化するデンソーと、民生由来の先端技術を幅広い市場に高度に展開してきた当社の強みを組み合わせた共創は、IP 共有による新規商材拡充や先端モノづくりの相互活用による生産効率・品質向上を通じて、技術・製造両面の更なる競争力強化を実現し、自動車、及び民生・産業機器の両分野におけるお客様への提供価値を高めていくことができるとの考えを共有しております。本提案が取下げられた後も、デンソーとの戦略的パートナーシップ構築に向けた基本合意に基づき、アナログ IC を中心に、自動車分野に加え、民生および産業機器分野においても製品開発・供給等の協業施策や、人的交流を進めることで、両社の共創活動をこれまで以上に進展させていくことを両社で合意しており、継続して協議してまいります。

なお、当社は、企業価値向上に向けて、2025年11月6日付で開示した第2期中期経営計画“MOVING FORWARD to 2028”を全力で推進するとともに、2026年3月27日付で開示した東芝デバイス&ストレージ株式会社の半導体事業および三菱電機株式会社のパワーデバイス事業との事業・経営統合に関する協議にも真摯に取り組んでまいります。加えて、デンソーとの戦略的パートナーシップの更なる深化を含む様々な戦略オプションを適切に検討することによって、株主及びステークホルダーの皆様にとっての企業価値最大化を図ってまいります。

以上